



四者会議を3年ぶりに開催

本校における地域との連携、地域に拓かれた学校づくりの特徴的な取組として、「ふるさとタイム」と「四者会議」があります。「四者会議」は、今から24年前、開校から10年あまりが経たより良い六中を創るために、生徒・地域・保護者・学校、の四者が協力し合う場として始まりました。時代と共に少しずつ形を変えながら、かつて開催されていた郷土文化を体験することや、地域での奉仕活動、地域の方々と一緒に調理したものを食べながら交流する「ふるさとタイム」とともに、六中の特徴的な取組として続いてきました。

しかし、新型コロナウイルスの影響から、令和2年度、令和3年度は中止としました。学校では、新型コロナウイルスの対策と地域との繋がり両立を念頭に、2年間検討を重ねてまいりました。そして、今年度は、「ふるさとタイム」を今までのイベント名ではなく、「地域を知る」「地域ではたらく」「地域で学ぶ」と学年ごとのテーマを掲げ、総合的な学習の時間の中の地域連携として「ふるさとタイム」と呼ぶ活動を、取り入れた新しい形としてスタートすることにしました。その「ふるさとタイム」で学んだ学習内容を「四者会議」の場で地域の皆様に発表することにしました。

3年ぶりの四者会議は、10月21日(金)に各地区で開催されました。多くの地域の皆様におこしいただき、六中生の総合的な学習での学びを知っていただきました。会場を用意していただいた支部のPTAのみなさま、ありがとうございました。



1年 福祉学習

10月28日(金)上田市社会福祉協議会と点訳サークルでんでん虫の方々が講師として来校して下さり、クラス毎に①車いす体験 ②高齢者疑似体験 ③点字学習 ④福祉講話 に分かれて、福祉学習を行いました。

生徒たちは、車いすを押したり、段差を通過するやり方を学んだり、高齢者の疑似体験ができる器具を身につけ、動きづらい、見えづらい、聞こえづらい、物を掴みづらい等を実際に体験しました。様々な面で困っている人にどう手助けをすればよいか、を学ぶ時間となりました。



2年 人権学習(ハンセン病)



同じく10月28日(金)、ハンセン病の問題を学ぶ人権学習を行いました。今年度も上田聖ミカエル及諸天使教会の江夏一彰さんを講師に迎え、講演会を開催しました。

ハンセン病について、官民あげた「無らい県運動」により、多くの患者を療養所へ強制隔離していた歴史や、その無らい県運動が長野県で特に盛んだったこと、現在は高齢化が進み、療養所で暮らす元患者が減少していることを学びました。

近い将来、ハンセン病問題が「なかったこと」と忘れ去られてしまうことが危惧されていることから、生徒たちがこの問題を学ぶことに価値があると位置づけていただきました。

語りの会(民話の語り)



塩田平民話研究所のみなさんが、地域の民話を伝えてくださいました。秋の読書旬間に合わせて毎年開催しています。語り部のみなさんの、表情豊かな語り口は、瞬く間に民話の世界に引き寄せられます。

生徒たちにとって普段の生活では味わえない貴重な時間となりました。

保護者懇談会 12月6日(火)～

本日(10/31)保護者懇談会の通知と、希望調査用紙を配布しました。

希望調査用紙は11月9日(水)までに担任までご提出ください。



11月の予定

4日(金)3年進路講話・漢字検定
7日(月)2年身体測定
11日(金)1年飲酒喫煙防止講演会
17日(木)2年薬物乱用防止講演会
3年 技・家テスト

18日(金)1年身体測定
20日(日)メディアコントロールデー
21日(月)2学期期末テスト 3年総合テスト④
25日(金)3年身体測定
28日(月)生徒会立会演説会・選挙 引落日